

問一 ①戦跡 ②一端 ③念頭 ④ろうば ⑤斜 ⑥かたまり

⑦漫然 ⑧げきつい ⑨膨大 ⑩犠牲 ⑪むざん ⑫ずいこう
⑬ろてい ⑭かなめいし

問二 A なぜかというと B しかし C また D だからこそ E そして

問三 ① ○ ② × ③ × ④ × ⑤ ○

問四 知らず知らずのうちに、戦争（沖縄戦）を殺される住民の側ではなく、攻撃する米軍（軍隊）の視点を内在化し、殺す側の視点で見えてしまう危険性を持っているから。（六六六七字）

・「米軍（軍隊）の視点」や「殺す（攻撃する）側の視点」を内在化してしまう、あるいはそういう視点で見えてしまう危険性といった表現が入っていることを正答の条件とする。

問五 膨大な住民の証言集を読むことで、殺される側、映像に撮られる側の視点から戦争をとらえ返し、殺された住民の無惨さや無念さを知り、沖縄戦を教訓化することができるから。（八〇字）

・「殺される側」や「映像に撮られる側」から戦争をとらえ返す、殺された住民（者）の無惨さや無念さを知ることができるといった表現が入っていることを正答の条件とする。

問六 戦争に関する映像を見る際に、攻撃する側の視点ではなく、攻撃される側の視点から映像をとらえ返す想像力を働かせることで、現在行われてる戦争を相対化させ、攻撃する側の視点からとらえられた映像を批判的に見直していく力になると思う。沖縄に米軍基地があることで米軍が行う戦争に加担させられている面も含めて、沖縄戦の継承で大切なのは、攻撃される庶民の視点から、沖縄戦、米軍基地、現代の戦争を繋げてとらえる想像力だと考える。（二〇四字）

・「攻撃される側の視点」と「想像力」の二語が用いられていること。
・表記、字数が適切であるか。
・内容（文章で表現されている内容についてよく理解し、自分の問題として考えているかどうか）